

## 【担当教員】

黒田龍二（教授）栗山尚子（助教）中江研（助教）

[Teaching Assistant（修士1年）]

徳永悠希（A61）吉野真美（A61）榎本瑞樹（A61）

## ■演習のねらい

- (1) 公共図書館のネットワークと役割分担、図書館の機能、図書館建築の機能・空間構成を理解すること。
- (2) 施設が立地する地域の歴史、空間的・社会的特徴を把握し、地域コミュニティ施設のあり方を考えること。
- (3) 以上を踏まえて、地域コミュニティ施設としての図書館の望ましい空間を提案すること。

## ■計画建物の概要

- (1) 延床面積 1,600 m<sup>2</sup>前後  
(±10%程度の増減は可、ビロティ、庇、バルコニー、屋外階段等は面積に参入しなくてよい。)
- 注意：敷地I、IIはともに容積率 200%の地区で3千m<sup>2</sup>以上の敷地面積があるが、本課題では上記の延べ床面積とする。
- (2) RC造、鉄骨造、または木造（準耐火建築物）
- (3) 階数／複数階（平屋建ては不可）

## ■敷地 I

阪急六甲駅南側、六甲八幡神社境内に隣接する敷地。  
敷地面積 約 3,230 m<sup>2</sup>  
第一種中高層住居専用地域／建蔽率 60%，容積率 200%

## ■提出図面・用紙

- (1) 所要図面  
配置図 1/500 建物本体については屋根伏図で示すこと。  
各階平面図 1/100 1階平面図には外部空間の計画を明示のこと。  
立面図 1/100 2面以上。  
断面図 1/100 設計意図のわかる断面を1面以上。  
透視図（必須）1葉以上 図面にはりこむなどして提出図面のサイズは統一  
模型写真（必須）1葉以上 同上  
※断面図、透視図、模型写真是設計の意図が十分に伝わる部分を適切に選ぶこと

- (2) 用紙： A1ケント紙あるいは同等の紙（プレゼンテーションの工夫として色つきの紙でもよい）  
鉛筆、インキング等の仕上げ自由。  
模型写真的貼込みなどは可とするが、図面一枚全部をプリンタ出力の場合、貼り合わせは不可。 A1一枚ものとして出力のこと。

## ■敷地 II

阪神新在家駅南側、新在家南公園の北側の敷地。  
敷地面積 約 3,103 m<sup>2</sup>  
準工業地域／建蔽率 60%，容積率 200%

## 姿勢が生まれる図書館

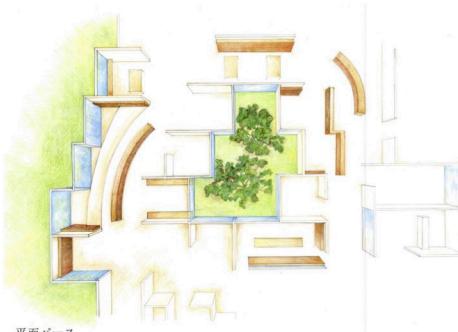
谷大蔵

図書館では静かにしなければならない。

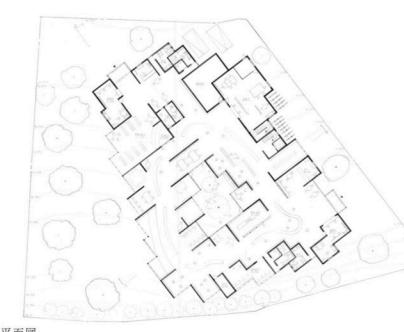
そんなたり前のマナーがどこか読書活動を限定しているのではないか。

スケのある狭空間の集まりで様々な目的・要求に対応する“読み方”を充実させる。

本との接し方の充実が人との読書の姿勢を変えていく図書館。



平面ベース



平面図



立面図

## まちなか図書館

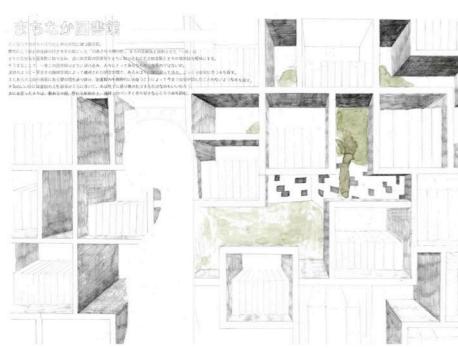
伏見公輔

六甲の町並みと神社の間に建つ図書館の設計。

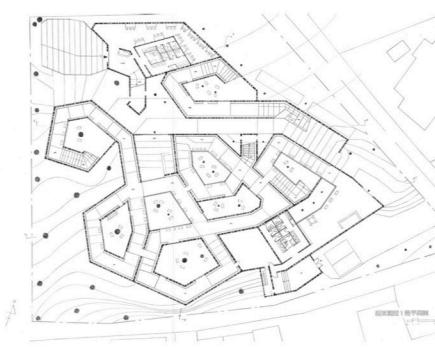
穴の開いた本棚、グネグネと曲がる線状回廊型の図書空間。

全部で九つある中庭、図書館の真ん中を通り抜ける公共空間としての参道。

これらの要素によって町と図書館と神社の雰囲気を共有し、繋ごうとしました。



内から外のベース



平面図



断面図

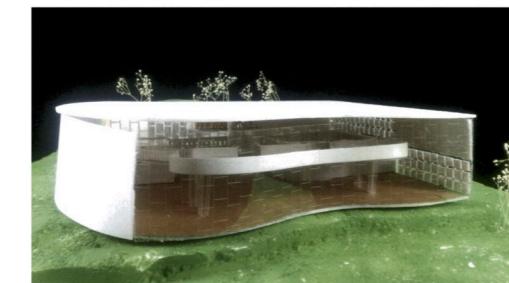
## BRIDGE LIBRARY

吉末理紗

橋をテーマとした図書館。橋は図書館施設としての南棟と地域空間としての北棟をむすぶ。

橋は北棟に面してつくられた丘と共に敷地全体につながりをもたせる役割をもつ。

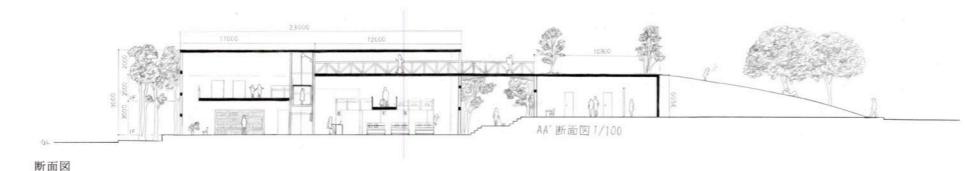
建築物のみならずランドスケープの観点から敷地の傾斜を利用して設計することを目標とした。



模型写真



平面図



断面図

## Cask

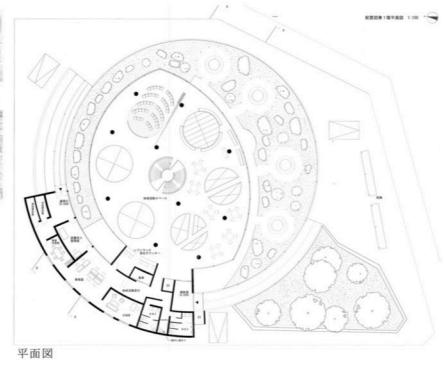
堀内啓佑

敷地は酒造が盛んな地域に位置しており、酒造の樽というカタチを図書館に利用する。

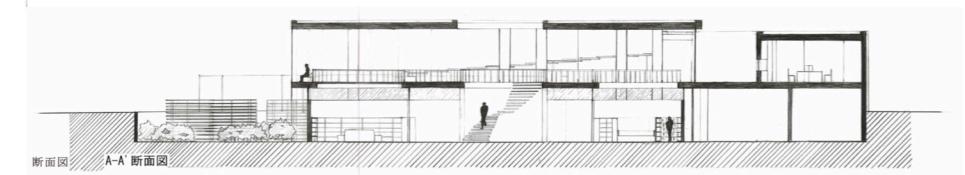
利用者に樽の中で本を読む、樽の上から本を感じるといった新しい経験をさせるだけでなく、樽を使って視線や音を操作しより過ごしやすい空間になるよう設計した。



内観ベース



平面図



断面図 A-A' 断面図